

平成19年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	副読本「わたくしたちの阿南町」発行事業
事業主体 (連絡先)	阿南町教育委員会 TEL0260-22-2270
事業区分	(3) 教育及び文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,344千円 (うち支援金: 1,340千円)

**事業内容**

【別紙】

.....  
.....  
.....  
.....  
.....  
.....  
.....

(活動写真)

.....  
.....  
.....  
.....  
.....

自己評価(事業実施率)【 A 】

**事業効果**

【別紙】

.....  
.....  
.....  
.....  
.....  
.....  
.....  
.....  
.....  
.....

【目標・ねらい】

- 現在の阿南町の様子の確認
- 郷土愛を深める
- 情報の交換
- 新しい阿南町の発展に寄与

自己評価(目標達成率)【 A 】

**今後の取り組み**

【別紙】

.....  
.....  
.....  
.....

※ 自己評価欄は「A」90%以上「B」70~89%「C」50~69%「D」49%以下で示すこと。

(別紙)

① 事業内容

平成18年12月5日第1回副読本「わたくしたちの阿南町」改訂版編集委員会を組織して、今後の方針・内容・予算・日程・分担等について検討してスタートした。編集委員会は毎月1回10回をめぐりに開催することにした。

資料収集等も編集委員が中心となりすすめ、教育委員会で相互の連絡連携を取り合いながら町内の学識経験者・学校・保護者・企業からの協力を得て集めることができた。写真や記事についても、特に気を使い阿南町制施行50周年記念にふさわしいものを集めることができた。

印刷業者は指名競争入札で決定。町内4小学校周辺の風景写真も本事業により空撮影ができたことにより、町の現在の姿が鮮明にわかり、副読本がさらに、親しみをもつことができ話題になっている。その他の掲載写真についても教育委員会や編集委員会が中心となり歴史・各施設・芸能等にわたり最新のものに気を配ることができた。

このようにして、小学生の3・4年生を中心として格好の社会科学習資料としての阿南町の身近なことが、豊富に理解できる副読本改訂版が平成6年以来13年ぶりに予定どおり発刊できた。

② 事業効果

発刊後、町内3・4年生85人に配布したところ、早速こども達、保護者、学校関係者から今の阿南町の本当の姿がわかり易く掲載されており、今まで知られていないこともわかると好評。

こども達は、この副読本の学習により町のことをさらに知ることができ、阿南町に対する郷土愛も深まり移り変わりも理解することができた。

阿南町の古代から現在までの移り変わりや町の変化を紹介することにより、新しい町の発展にも役立つことができた。

③ 今後の取り組み

この副読本を学習教材として利用することにより、子ども達の郷土愛と郷土をみる眼が養われ、成長することができるようにしたい。そして、図書館・役場支所等に配置して地域住民に提供することにより、現状の町の様子を理解してもらうように努める。これによりさらに老若男女誰でも学習機会を得ることができるようにもなる。

最大目標は阿南町の発展であるので、この副読本により学習機会も増えてきて多くの情報が交換されて町の発展に大きく影響することができるようにしたい。

